

平成21年11月～12月利用 Nさんご家族の感想

「ほたるの森 移住体験住宅での生活を振り返り」

緑豊かな木々と清涼な空気の中に住みたいという望みを託して会津若松の体験住宅での生活が始まった。

当地についての知識はほとんど無く、ここを選んだのは偶然に近かった。

ほたるの森の移住体験住宅は広々とした田畑の向こうに阿賀川の土手とその奥に磐梯山を、また目を転ずれば飯豊山の白雪をいただいた姿を見ることができる眺望の中にある瀟洒（しょうしゃ）な平屋建てで3LDKの間取りであった。

滞在中は、市の担当が集めた多くの賃貸情報の中からその所在を確認し賃貸料と私の予算から候補を絞り、担当者の案内で物件を見て内容を確認した。

自然環境を優先すれば実生活での不便さは避けられず、便利さを求めれば環境は制約を受ける。まして自動車を運転できない身では冒頭に述べた希望を叶えるのは無理難題であると思い知らされた。

食生活面では野菜、果物が豊富で安いには驚かされた。ただ生鮮食料となると徒歩約1時間のスーパーまで出かけなければならず大変であった。自転車を用意していただいたのは大分助かったし、ありがたかった。ただ自転車は雨や雪が降れば使えず結局は自動車が必要になる。ピカリンバスは運行本数から片道しか利用できなかったのは残念であった。

住宅の周りでは青サギやトンビがエサをついばみ、スズメの大群が飛び交う情景は初めて見るもので素晴らしいものだった。

会津で出会った人々は皆親切であった。街中で地図を広げていたら行き先を聞いて道順を教えてくれたり、初対面にも関わらず親しげに話しかけてもくれた。また車の運転も人優先で良くルールが守られているのを感じた。

会津の天候は変化が激しく、また風が強く気温が低いせいもあって洗濯物が外に干せないこともあった。天気予報で晴れと言っても霧が出ることが多く中々晴れ渡るまで時間がかかったのは意外であった。12月に入り退去が近づいたとき、それまで比較的天候に恵まれていたが、夜星空を眺めた後に雪が降り出し、翌朝雪がたくさん積もっていたのにはびっくりさせられた。新雪を踏み分けてバス停まで歩いたが大変だった。膝下までの長靴が用意されていたのもこれで納得できた。このような状態では老人しかも自動車を運転できないものには、一時的にせよ生活することが困難であると思ってしまった。こういう自然の厳しさに遭遇したことは逆に良かったと思った。冬の厳しさの情報を持っていなかったため大きなショックを受けた。

冬がなければこんな良いところはないという言葉が良く分かった。

残念ながら、当初もくろんだことは達成できなかったが、定住・二地域居住推進協議会の皆さまに大変お世話になったことを感謝する。